



あかしや

～豊かなくらしを自ら創り出す子どもの育成～

山形市立第九小学校

令和5年1月11日 No.13

発行：校長 大沼清司

山形市馬見ヶ崎 2-5-1



新年 明けましておめでとうございます



皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年もあかしやっ子の健やかな成長のため、今後ともご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

努力が実を結び、勢いよく成長する年に(第3学期始業式の話)

明けましておめでとうございます。みなさんの元気なあいさつと明るい笑顔が、またあかしや学園に戻ってきました。あかしやっ子全員が安全に冬休みを過ごすことができ、とてもうれしく思っています。

さて、今年も干支の話をしましょう。干支の干は、「かん」とも読み、10個の干、十干(じっかん)というものを表しています。十干は、「甲(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)・戊(つちのえ)・己(つちのと)・庚(かのえ)・辛(かのと)・壬(みずのえ)・癸(みずのと)」の10個。今年はその中の「癸」の年です。みなさんがよく知っている鬼滅の刃、竈門炭治郎の最初の階級ですね。干支の支は、「し」とも読み、12個の支、みなさんもよく知っている「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」の十二支のことです。今年はその中の「卯(うさぎ)年」に当たります。ですから、今年の干支は、「十干」の中の「癸(みずのと)」と「十二支」の中の「卯」を合わせた「癸卯(みずのとう)」という年になります。「癸(みずのと)」は、大地を潤す恵みの水で新たな生命が成長し始めることを意味し、「卯(うさぎ)」は、ピョンピョン跳びはねて、希望があふれ、ものがよくなることを意味しているそうです。ですから、「癸卯」の今年、努力が実を結び、勢いよく成長する年ということだそうです。

「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。一年の計画は元旦に立てるべきだという意味です。みなさんは今年の目標を立てましたか。今日から始まる48日間の短い3学期を、しっかりと目標を立てて、これまで付けた4つの力を使って、うさぎのように大きくジャンプして成長しましょう。とくに、ひまわり学年のみなさんには、残り少ない小学校生活を大切に過ごすとともに、最高学年としてのあかしやっ子の姿を後輩たちに最後まで見せてくれることを期待しています。3月18日の卒業式には、胸を張ってあかしや学園を巣立ってください。また、にじいろ学年を中心とした在校生のみなさん、ひまわり学年のみなさんが安心して中学校に進んでいけるよう、今日から一つ上の学年の0学期、5年生は6年生としての0学期、1年生は2年生としての0学期として、4つの力をますます伸ばしていきましょう。令和5年、癸卯(みずのとう)の年がみなさんにとって素晴らしい年になることを心から願っています。

< 3 学期始業式での代表児童の発表 >

3 学きがんばりたいこと

2 年生ものこりわずかで、3 年生にむかってすすんでいく 3 学きがはじまります。わたしは、学年もくひょうの「かんじよう、考えよう、やってみよう」をさらにいしきしてすごしていきたいです。その中で、3 学きがんばりたいことを三つ決めました。

一つ目は、自分のかかりのしごとをしっかりとやることと、気づいたことをこうどうすることです。わたしは、あまり時間がなくてよゆうがない時に、自分のことでいっぱいになってしまって、かかりのしごとをわすれてしまう時がありました。だから、先のことを考えてこうどうするようにしていきたいです。そして、友だちやクラスのことなども気づいたことがあったら、自分からすすんですぐやったり、きょう力したりしていきたいと思います。

二つ目は、じしゅべんです。今までも、できる時に自分でどんなべんきょうをするかを考えながら、学しゅうしてきました。とくに、算数の九九をがんばったので、1 から 9 のだんの文しょうもんだいや計算ができるようになりました。これからも、自分できょうみがあることや自分にたりないところなどを、よく考えてがんばりたいです。

三つ目は、ふわふわことばです。わたしは、学校に毎日来れることが楽しいです。どうして楽しいのかを考えてみたら、みんながふわふわことばを言ってくれるからだと思います。「おはよう。」「バイバイ。」のあいさつはもちろんですが、「だいじょうぶだよ。」「いいね。」など、みんながやさしいことばをつかってくれています。わたしもふわふわことばをつかっていますが、もっともっとふわふわことばをたくさんつかって、みんなが気もちよくすごせるようにしていきたいです。

このように、心と頭と体のパワーをぞんぶんにはつきしながら、「かんじよう、考えよう、やってみよう」を大切に、3 年生にむけてがんばっていきたいです。

2 年 おく山 あいか



6 年生になるための準備



ぼく達は、今年 4 月に 6 年生になります。3 学期は、6 年生になるための準備のスタートだと思います。特にがんばりたいことが三つあります。

一つ目は、みんなと話し合うことです。前期の委員会が始まったころ、ぼくは意見がなかなか言い出せずにいました。そんな時に 6 年生が話し合いにまぜてくれて、ぼく達は意見を言いやすくなりました。また、児童会総会の時や委員会の時に、進んで意見を出し合って、学校をよりよくしたいと思うようになりました。そのために、今から積極的に委員会や授業の時にも意見をいっぱい出して、真剣に話し合うようにしたいです。

二つ目は、あいさつです。ぼくは毎朝明るく元気に自分からあいさつを心がけています。1 2 月からのプロジェクト委員会の特別活動で、あいさつ運動をしています。各学年のフロアを回っていたら、あることに気付きました。自分にはできていなくて、他の学年のすがたから気付いたことがありました。それは、「相手に心を込めてあいさつすること」です。ぼくは、深いおじぎと相手の目を見てあいさつすることができていなかったです。なので、日ごろから相手の目を見て深くおじぎができるようになりたいです。そして、あいさつをできるには、1 回がんばったら終わりじゃなく、くり返してあいさつをするのが大切だと思います。あいさつは、人と人との心をつなぐものだと思うので、これからも心をこめて行きます。

三つ目は、5 年生の気持ちから 6 年生の気持ちにアップさせることです。ぼくは、あかしの四つの身に付けたい力が付いた 6 年生になりたいです。ぼくは、特に自己指導力を身に付けたいです。自分の気持ちがあまいところがあるので、自分で決めた目標に向けてがんばりたいです。ぼくのいる 5 年 4 組では、授業前の切りかえができていませんでした。だから、代表委員を中心に、切りかえができるようがんばっています。自分もすぐに気付いてみんなに教えたり、授業の準備をしたりできるようにしたいです。

よりよい 6 年生になるために、みんなと協力し合って、四つの力が身に付いている 6 年生になりたいです。6 年生になる前の 3 学期に、特に一日一日を大切に過ごすようにしたいと思います。

5 年 板垣 悠杜